

**平成 18 年度**

**危機管理対策室予算要求方針**

## - 目 次 -

- 1 平成 18 年度危機管理対策室予算要求総括表・・・・・・・・・・ 1  
【一般会計】
- 2 18 年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・ 2
- 3 事務事業の総点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3  
事務事業の見直し

# 1 平成 18 年度危機管理対策室予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 A	平成 18 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
危機管理対策部	4 2 1 ( 2 4 2 )	2 1 6 ( 2 1 6 )	2 0 5 ( 2 6 )	48.6% ( 10.6% )
合 計	4 2 1 ( 2 4 2 )	2 1 6 ( 2 1 6 )	2 0 5 ( 2 6 )	48.6% ( 10.6% )

1 ( )内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある

## 2 18年度予算要求にあたっての基本的考え方

近年、私たちのまわりで発生する危機は、地震、風水害等の自然災害だけでなく、社会に影響を及ぼすような事故や事件が相次ぎ、その様相も大規模化・多様化しています。札幌市においても、都市化の進展や海外との人的・物的交流が活発化する中で、市民生活を脅かす危機の発生が懸念されるところです。

市民の生命と財産を災害から守るための「安心と安全の確保」は、札幌市として負うべき最重点課題の一つと認識し、地域防災計画等により取り組みを図ってきました。

しかし、災害の複雑・多様化とともに災害に対する社会全体の意識の変化に伴い、自治体に求められる災害対応の範囲が、自然災害に加え社会的・人為的災害事象へと広がってきており、多様な危機事象への幅広い対応が求められるところです。

このため、複雑・多様化する危機の発生を未然に防止し、危機が発生した場合には迅速・的確な対応による被害の軽減を図られるよう、札幌市全体としての危機対応力の強化を目指した各種の施策を推進してまいります。

### 1 災害につよいまちづくりの推進

札幌市では、災害に強い安心・安全なまちづくりを進めるため、様々な分野において防災力の充実・強化を図ってきましたが、災害はいつ起こるか予測することが出来ません。

大規模災害時における被害軽減のためには、災害に強いまちづくりに向けた取組の推進が不可欠です。このため、水防計画の修正などの地域防災計画の充実と情報提供のための環境整備を進めるとともに、災害図上訓練(DIG)の普及や防災リーダー研修の実施など、自主防災活動への支援を通じて、住民・事業者・NPO等、様々な主体が防災対策に参画し、自分たちの地域の問題として関わりを深めていくなど、地域に根付いた自主的な防災活動を推進してまいります。

### 2 危機管理体制の整備と機能強化

自治体全体としての危機対応力の向上が求められるなか、従来の自然災害を含め、多様化する危機に対して、札幌市全体としての危機対応力を強化するため、昨年度から「危機マネジメントシステム」を導入し、全庁的な危機管理体制の整備と対応力の強化を図っております。

今年度は、これを実効あるものにしていくため、危機管理対応力の評価に関する調査研究を実施してまいります。

また、避難場所運用実務研修などの実施により、職員の対応技術の習熟を進めるほか、平素の職員向け個別研修システムの調査研究を行うなど、訓練・研修の充実強化に向けた取組を推進してまいります。

あわせて、国民保護計画の策定に向けた取組強化を図ってまいります。

### 3 事務事業の総点検

事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や、その他事務事業の効率化などによる見直し

<見直し額 3.4百万円>